

地域包括支援センター職員に聞きました

認知症の方との関わり方 こんな時、どうすればいいの？

認知症であっても、接し方は一般の人と基本的に変わりません。周囲の人の理解や、笑顔で見守ってもらえる温かい支援があれば、認知症の進行は緩やかになります。

ケース1

ご飯を食べたことを忘れる

「まだ食べてない」「食べさせてくれない！」と本人はすっかり忘れてしまいます。そんな時は、お腹が空いているようなら飲み物や軽いおやつを用意し、次の食事を待ちましょう。袋ごとなど、あるだけ食べてしまう場合は、1回分だけ出して残りはしまっておきます。

ケース2

幻覚・幻聴

「誰かが部屋にいる」「誰かが呼んでいる」など、実際にはない事を話す場合があります。「誰もいない」「声なんか聞こえない」と否定するのではなく、「誰か来ていたんだね」「何て言っているの？」など、話を合わせると安心して落ち着く事が多いです。

ケース3

自分の物が見つからない時、誰かが取ったと思いつい込む

自分が疑われたとしても「自分は取ってない」と言い返して

ケース4

買った物に出かけて帰れなくなったり、自宅に帰ると言っても外出する

はいけません。自分の気持ちを落ち着かせて、失った本人が困っているのだと受け止めましょう。

「今日は日曜日でお休みですよ」「まだ早いのでお茶でも飲みませんか」と気をそらしましょう。また、一緒に散歩をすることで満足する場合があります。無理やり外出を止めるのではなく、居心地の良い環境にしてみましょう。

ケース5

何度も同じ話を繰り返す

話をした事が記憶に残らないため、何度も同じ話をします。「もう聞いた」など冷たい返事をせず、気長に聞く事が大切です。話題を切り替えることでうまく別の話に乗ってくれる事もあります。

ケース6

道に迷っている様子のお年寄りを見かけたら

迷っているかどうかを見分けるポイントは「季節感のない服装」「困った、不安そうな様子」「うろつくと、あてもなく歩き回っている」などです。驚かせないように、優しく声を掛けてください。住所や名前が分からない場合は、高齢介護課や警察に連絡してください。

ケース7

収集癖(物集め)

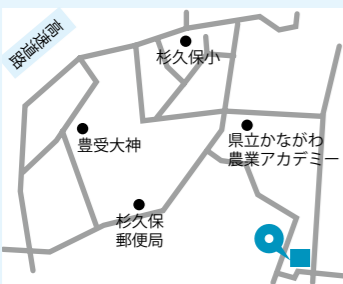
家庭のごみ、空き缶、賞味期限が切れた食べ物などを集めたり、集めた物をそのまま、しまひこんでしまうことがあります。一時的な場合が多いため、集められた害のない物については、そっとしておきましょう。不衛生な物であれば、本人に気付かれないようにこっそりと捨てるのが良いでしょう。

このような時は、注意したり、叱ったりしない事が大切です。



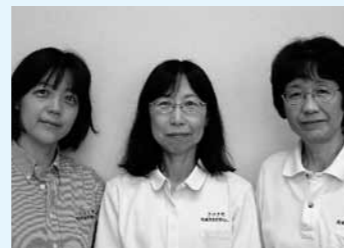
海老名南地域包括支援センター

杉久保南3-31-6
えびな南高齢者施設内
☎(238)7691
【担当地区】
中河内・中野・今里・上河内・杉久保・杉久保南・杉久保北・本郷・門沢橋



国分寺台地域包括支援センター

国分寺台2-10-23
国分寺台ケアセンター内
☎(233)8881
【担当地区】
大谷・大谷南・大谷北・国分寺台・浜田町



さつき町地域包括支援センター

さつき町41
海老名市医療センター内
☎(234)7226
【担当地区】
中新田・さつき町・河原口・社家



市内6カ所の地域包括支援センターでは、専門スタッフが介護に関する相談や、高齢者福祉サービスなどの申請を受け付けています。

地域包括支援センターにご相談を



海老名中央地域包括支援センター

河原口1519
海老名メディカルサポートセンター内
☎(234)2973
【担当地区】
勝瀬・中央・国分南・国分北



海老名北地域包括支援センター

上今泉4-8-28
えびな北高齢者施設内
☎(231)6061
【担当地区】
上郷・下今泉・上今泉



海老名東地域包括支援センター

東柏ケ谷3-5-1
ウエルストーン相模野102
☎(292)1411
【担当地区】
柏ケ谷・東柏ケ谷・望地

